

歴史や文化を守り活かし、人をひきつける魅力があふれるまち

若い人の夢とチャレンジを応援することや、はぐくまれてきた歴史資源や文化資源を守り伝え活かすことで、市民のまちへの愛着と誇りを高め、まちの魅力を高めていくとともに、それらを戦略的・効果的に発信していきます。そうした取組を通じて、交流人口、活動人口、定住人口の増加を図り、人をひきつける魅力があふれるまちをめざします。

1. 施策を考える背景

- ・ まちの魅力を高め、イメージを向上していくためには、市内外に向けた戦略的・効果的なシティプロモーションが求められています。今後は、市民の地域に対する誇りや愛着を醸成していくことが重要となるため、さまざまな地域資源を活かした取組を実施し、まちの魅力を多様な情報発信媒体（SNS等）を活用して市民とともに発信していく必要があります。
- ・ 築城400年を機に尼崎城が再建されることを契機として、多様な関係者が一体となって観光の観点から地域の魅力をさらに高め、交流人口の増加や地域経済の活性化、地域への誇りと愛着の醸成につなげていく必要があります。
- ・ 「尼崎市文化ビジョン」に基づき、「文化の担い手が活躍しているまち」「文化資本が次世代に継承されているまち」「市民の地域への愛着が高まっているまち」の実現をめざし取組を進めています。
- ・ 本市の地域資源である「お笑い」「落語」を活用し、若者向けのコンテストを開催しているほか、若手芸術家への創造・発表の場の提供、子どもが鑑賞・創作する機会の充実などの取組を通じて、将来を担う若い人の夢を後押しし、本市が夢とチャレンジを応援するまちであるというメッセージを発信していくことが重要です。また、近年、「工場夜景」や人気アニメのファンによる「地名めぐり」など、尼崎の新たな魅力を地域資源として活用する取組が進んでいます。
- ・ 本市には、2000年以上にわたる豊かな歴史と文化がはぐくまれ、その歩みを今に伝える史跡・文化財を始め、各時代のさまざまな歴史資料、産業遺産等が残されています。こうした地域の歴史と文化を次世代に継承し、子どもの頃から地域の歴史や文化に触れる学習機会を提供するなど、地域全体で文化財や歴史資料等の保全と活用に取り組むとともに、歴史文化の拠点の整備が必要です。

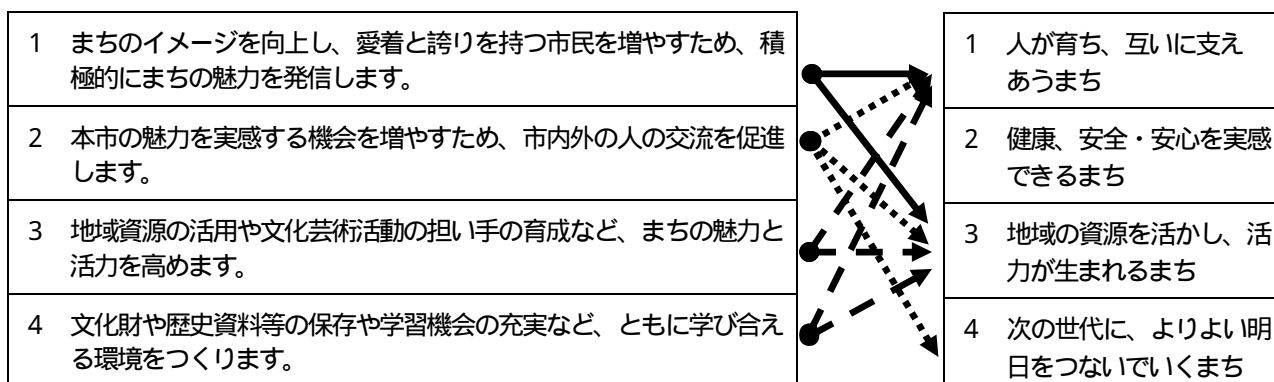


子どもが鑑賞・創作の様子



『尼崎城下風景図』【尼崎市指定文化財】
江戸時代の尼崎の町の様子が詳細に描かれた絵図

2. 施策の展開方向



3. 各主体が取り組んでいくこと		
市民・事業者	<p>さまざまな芸術体験と芸術活動を通じて文化の大切さを理解し、文化の力を活かしたまちづくりを意識します。</p> <p>地域の歴史や文化などに関心を持ち、身近なまちの魅力について、自らがプロモーション役として市内外に発信します。</p> <p>未来の担い手である子どもにまちに愛着を持ってもらうため、地域の豊かな歴史などを伝えていきます。</p> <p>まち全体のさらなる賑わいの拡大をめざし、尼崎城等の新たな魅力の活用や訪日外国人との交流等に努めます。</p> <p>事業者等は、尼崎の魅力が感じられる商品の開発やサービス等を提供し、積極的に情報発信に努めます。</p>	
行政	【展開方向1-1】戦略的な情報発信によるまちのイメージの向上	市民・事業者
	まちの魅力を戦略的かつ効果的に発信していくことで、良好な都市イメージの創造につなげていきます。	
	【展開方向1-2】尼崎への愛着と誇りの醸成	市民・事業者
	本市の魅力を高め、戦略的に発信していくことで、市民の尼崎への愛着と誇りの醸成を図ります。	
	【展開方向1-3】歴史や文化財等の魅力発信	市民・事業者
	学校等とも連携し、子どもたちに地域の歴史や文化に触れる学習機会（体験学習会の開催等）の提供に取り組みます。市民が地域の歴史や文化財に触れ、学ぶ機会（見学会・歴史講座の開催等）の提供に取り組みます。	
	【展開方向2-1】地域資源を活用した市内外の交流促進	市民・事業者
	市外からの来訪者が尼崎の地域資源に直接触れ、魅力を実感する機会を増やすために「来訪者の動き」を意識して、地域の資源をつなげていきます。 姉妹都市・友好都市をはじめとする諸外国との交流に引き続き取り組みます。	
	【展開方向2-2】地域一体となって取り組む観光地域づくり	市民・事業者
	観光による地域経済の活性化、まちの魅力と価値の向上、さらなる地域の愛着や誇りの醸成をめざし、地域の多様な関係者が一体となって観光の取組を進めていく仕組みや体制を構築していきます。 統計データ等に基づく戦略的な観光プロモーション、ニーズを踏まえた体験型企画の開発などに取り組みます。	
	【展開方向3-1】地域文化を創造する次代の担い手の育成や連携の促進	市民・事業者
	若い人の夢を後押しし、飛躍のきっかけとなる機会の提供に取り組みます。 市民が芸術に触れる場づくり、芸術活動の場づくり、子どもの鑑賞・創作機会の充実に取り組みます。	
	【展開方向3-2】地域の資源を活かした新たな魅力づくり	市民・事業者
	尼崎ならではの資源や特性を見つけ、組み合わせや加工、見せ方等を工夫して価値を高めます。	
【展開方向4-1】歴史遺産等の保存と活用	市民・事業者	
史跡・文化財、歴史資料等の収集・保存と調査研究に努め、その成果の公開・活用に取り組みます。 歴史に関するボランティアの養成、市民グループ等との連携による歴史遺産等の保存と活用に取り組みます。		
【展開方向4-2】地域の歴史に関する学習環境の整備	市民・事業者	
地域の歴史を調べ、学ぶことのできる拠点施設を整備し、施設周辺の観光資源とも連携してまちの魅力を発信します。		

4. 進捗状況を測る主な指標				
	指標	説明	策定時の値	目標値
1	尼崎市のイメージがよくなったと回答した市民の割合	市民意識調査において、「尼崎市の都市イメージが良くなった・どちらかといえば良くなった」と回答した市民の割合です。戦略的にまちの魅力を発信することにより、都市イメージの向上をめざします。	42.6%	66.0%
2	市内の観光客入込客数	市内のイベントや観光拠点への訪問者、ホテルの利用者等の数を示す指標です。地域で一体となった取組により、市内外の人々の交流を促進します。	2,403,022人	2,603,000人
3	尼崎市総合文化センターおよび本市が実施した文化芸術事業への参加者数	本市の文化振興の中核である総合文化センターおよび本市が実施する文化芸術事業への参加者数を増やしていくことで、まちの文化の担い手を育成します。	302,975人	349,000人
4	歴史や文化財等に関するボランティア活動参加延べ人数	地域の歴史や文化財等に関する情報発信に努め、まちの歴史に関心を持つ市民の割合を高めることで、地域への愛着と誇りをはぐくむことをめざします。	3,699人	4,792人

分野別計画
尼崎版シティプロモーション推進指針（H25年度～）文化ビジョン（H29年度～）（仮称）尼崎版観光地域づくり推進指針（H29年度～）都市再生整備計画（城内地区・H28～32年度）